

演奏プログラム



信州大学医学部 室内楽団

♪ 「医学部生が気軽に音楽に触れられる機会を」という
願いから2009年に結成
初心者から経験者まで100名以上が所属

♪ 主な活動

・ 定期演奏会

次回：2025年12月6 日(土)@キッセイ文化ホール 中ホール

・ 病院や介護施設でのミニコンサート

地域イベントでの演奏

8:20~8:50 グランデ壇上

1. もののけ姫メドレー (作曲：久石譲 編曲：福田洋介)

『もののけ姫』の世界を彩る名曲をひとつに紡いだメドレーです。「アシタカせつ記」の勇ましい旋律に始まり、「タタリ神」の不穏で緊迫した空気、「アシタカとサン」の繊細な心情、そして「もののけ姫」の神秘的で切ない旋律へと展開します。久石譲の音楽がつくるジブリの名作、壮大な物語を、金管ならではの重厚な響きと繊細な表現でお楽しみください。

2. アンダー・ザ・シー (作曲：アラン・メンケン 編曲：西篠太貴)

この曲は、ディズニー映画「リトル・マーメイド」でカニのセバスチャンが歌う陽気な曲です。「海の世界は最高!」と、魚たちの合唱や楽器の音色と共に歌い上げます。海のきらめきを感じながら、ぜひお楽しみください!

3. アイネ・クライネ・ナハトムジーク (作曲：モーツァルト)

1787年に作曲された弦楽合奏のためのセレナードで、題名は「小さな夜の音楽」を意味します。明快で親しみやすい旋律は映画やCMでも広く用いられ、特に第1楽章の冒頭はクラシック音楽を代表する名フレーズとして知られています。華やかで軽快な響きは、モーツァルトの魅力を端的に伝える作品です。

4. 「風林火山」メインテーマ (作曲：千住明)

武田信玄に仕えた軍師・山本勘助。その波乱の生涯を描いた大河ドラマ「風林火山」は、信州を舞台とした名作の一つです。そのタイトルの如く、「風」のような疾走感、「林」のような清涼感、「火」のような勇猛さ、そして「山」のような雄大さを表現したメインテーマを演奏させていただきます。

10:35~10:40 ロビー

5. 人生のメリーゴーランド (作曲：久石譲 編曲：三國浩平)

スタジオジブリ映画『ハウルの動く城』で流れる名曲です。軽やかで流れるような旋律が印象的で、聴く人の心に広がる豊かな情景を描きます。親しみやすく美しいメロディは、映画の世界観を生き生きと表現し、多くの人々に愛され続けています。躍動感ある響きと繊細な表現に久石譲の音楽の魅力が詰まった一曲です。

11:50～12:00 ロビー

6. Part of your World (作曲：Alan Menken 編曲：Howard Ashman)

ディズニー映画「リトル・マーメイド」の中で、主人公アリエルが歌う唯一の歌です。人間の世界への憧れが込められた曲ですが、今日は人間の世界からお届けしたいと思います。フルートのきらきらとした音色を楽しんでいただけるよう頑張ります！

7. 旅立ちの日に (作曲：坂本浩美 編曲：加藤新平)

中学校の先生が卒業生のために作った合唱曲で、作詞は校長が、作曲は音楽の先生が手がけました。卒業の切なさとしさが音楽になった、素敵な曲です。フルートカルテットの編曲でお楽しみください。

12:50～13:00 ロビー

8. フルート四重奏曲第1番二長調 K.285 第3楽章 (作曲：モーツァルト)

モーツァルトは父宛ての手紙の中でフルートを「我慢できない楽器」と書いています。当時のフルートは未完成で制御が難しい楽器でしたが、彼はその魅力を引き出す曲を数多く生み出しました。この作品は、フルートと弦楽器が響き合う軽やかで華やかな曲です。

14:00～14:05 ロビー

9. 四つのヴァイオリンのための弦楽四重奏曲ト長調 作品107 第1楽章

(作曲：イグナツ・ラハナー)

イグナツ・ラハナーはドイツ・ロマン派初期に活躍したラハナー3兄弟の次男です。この曲は亡くなる前年、ロマン派後期に書き上げられましたが、本人が自身の生涯を評したように古典派のような明快さと透明さを持つ曲となっています。4つのバイオリンが奏でるハーモニーをどうぞお楽しみください。

14:45～14:55 ロビー

10. ドヴォルザーク弦楽四重奏曲第12番「アメリカ」より第1楽章

(作曲：ドヴォルザーク)

「アメリカ」の愛称で親しまれるこの曲は、ドヴォルザークが故郷チェコを離れ、アメリカ滞在中に作曲した作品です。黒人霊歌や民族音楽の要素を取り入れながら、アメリカの美しい自然の風景が表現されています。郷愁と新天地での喜びが混ざった明るい旋律をどうぞお楽しみください。

16:00～16:20 グランドエタ上

11. さくらのうた (作曲：福田洋介)

日本の象徴のひとつである桜がテーマで、それを見上げながら思いを馳せる人々の心を描いた曲です。

しなやかな旋律が時に物悲しく、時に希望が広がるように紡がれていきます。その得も言われぬ美しさをお届けできればと思います。

12. カノン (作曲：パッヘルベル)

17世紀ドイツの作曲家パッヘルベルによる名曲で、正式には「カノンとジグ 二長調」と呼ばれます。低音の繰り返しのヴァイオリンの旋律が重なっていく構成が特徴で、結婚式や映画、CMでも広く親しまれています。シンプルながら豊かな響きが魅力であるクラシックを代表する一曲です。

13. 情熱大陸 (作曲：葉加瀬太郎)

ヴァイオリニスト葉加瀬太郎による代表曲で、テレビ番組「情熱大陸」のテーマ曲としても知られています。力強く伸びやかなヴァイオリンの旋律とリズムカルな伴奏が印象的で、聴く人の心をわくわくさせる作品です。クラシックの要素を取り入れながら、現代的で親しみやすい音楽として幅広く愛されています。